

令和8年度 社会福祉法人べっぷ優ゆう 事業計画書

事業期間 2026年4月1日～2027年3月31日

1. 法人の基本理念

- (1) 「働く」ということを人間としての基本的な営みととらえ、生きていく上での必要な権利であると考えます。
- (2) 障害のある仲間たちが、自らの意志で作業や活動に生き生きととりくむことができるよう合理的配慮に沿った支援を行います。
- (3) 仲間、スタッフが共感し、学び合い、信頼関係を築いていける場づくりをめざします。
- (4) 仕事や活動を通して人として豊かに生きていけるよう支援します。
- (5) 誰もが住み慣れた地域で暮らしていける社会をめざします。

2. 年度事業方針

I. [法人をめぐる状況]

- ◇ 医療・福祉分野での経営困窮、従事者の賃金格差是正が国会で問題視され、結果として緊急の1年前倒しの報酬改定が実施されることとなりました。

きょうされんは、いち早く改定内容を入手し、全国の会員事業所へ連絡した模様です。その内容は、改定は「処遇加算率」のわずかなアップのみで、本体報酬の見直しは全く示されませんでした。

- ◇ また、いつの間にか立ち消えと思っていた、12月から5月まで全従事者一人一万円の緊急支援f3月5日(木)大分県よりEメールが届きました。

この補助金は、10月にある最低賃金改定に伴うベースアップの原資としては使えず、申請すれば職員へ還元しなければなりません。

基本給や手当の一部として対応すれば、補助金以上の原資が必要となりますが、それはどのようにして作ればよいのでしょうか。ますます、自分の首を絞めることとなるのは明らかです。

- ◇ 最近触れた複数の若い世代の研究者や論者の意見に共通した見方、価値観があって驚いています。地球規模での環境問題もありますが、その原因は誕生して300年の資本主義的生産システム及び成長志向ではないか。脱成長、脱資本主義の社会システムを構築する動きが出てこない、人類は自らの種の維持が難しくなるのではないかと訴えているように感じられます。

もう一つのキーワードは、資本主義の「利己」の価値観から他者の必要に配慮する「利他」の心を重んじる共通した姿勢です。

- ◇ 社会福祉法人は、利益を追求する「会社」とは異なり、高齢者、子ども、障害のある方など、支援が必要な人々のために福祉サービスを提供し、その人たちが地域社会の一員として安心して暮らせる仕組みづくりに貢献することを専門とする組織です。

- ◇ 今、べっぷ優ゆうが置かれている経営環境には大変厳しいものがありますが、それでも優ゆうの仲間の明るく元気な日常を支えられるように、私たちは努力していかなければなりません。

べっぷ優ゆうの事業活動を持続させるために、目標や課題を共有し共に同じ方向を見つめ、行動することが大切です。

3. 事業別運営計画

(1) 日中活動事業：就労継続支援B型、生活介護（多機能作業所）

定員	就継B型	26名	生活介護	6名
実利用者		33名		8名
職員		7名 職指導、目工指員を含		5名
日平均利用数		28.5名 (32.5)		4.7名 (9.0)
開所日数	245日	送迎	毎日実施	
提供サービス	作業、文化・余暇活動、スポーツレクリエーション、就労支援等			

(2) 日中活動事業：放課後等デイサービス

定員	10 名	職員	6 名	
実利用者	18 名	開所日数	263 日 (土曜開所含む)	うち学校休業 40 日
日平均利用数	7.6 名 (12.5)	送迎	毎日実施	
提供サービス	集団生活適応訓練、創作的活動、レクリエーション、スポーツなど			

(3) 居住支援、日中活動事業：共同生活援助、短期入所

定員	共同生活援助	8名	短期入所	2名
実利用者		8名		33名
職員		8名		8名
日平均利用数		6.8名		0.9名
開所日数	359日	送迎	必要の都度実施	
提供サービス	〔共同生活援助〕主として夜間、共同生活の住居において相談、入浴排せつ又は食事の介護その他の必要な日常生活上の援助を行う 〔短期入所〕短期間の入所を必要とする障害者等に入浴、排せつ及び食事の介護その他の必要な支援を行う			

(4) 相談支援事業

相談支援専門員	業務従事者	現利用者数	期中利用数
1名		89名 (者75、児14)	
提供サービス	・地域で生活する障害児者及び家族の相談に応じ、各種サービスの利用援助調整など地域生活に必要な支援を行う。 ・関係機関との連携を進め障害児者の自立と円滑な地域生活の支援を進める。		

「日平均利用数」の下段（）内の数値は定員規模における上限利用数です。

4. 役員

(1) 理事・監事

- ①定数 理事6名 監事2名
- ②任期 令和9年6月の定時評議員会の終結の時まで
- ③理事長 永松温子
- ④理事 田中康子 瓜生田洋一 徳田宣子 小野恵子 中村公彦
- ⑤監事 加藤公利 都留慎治

(2) 評議員

- ①定数 7名
②任期 令和11年6月の定時評議員会の終結の時まで
③評議員 渡邊暁子 篠藤明德 中川奈緒美 大久保多津子
戸高小代美 豊田晴子 河野重義

5. 理事会・評議員会開催計画

(1) 理事会

- 第1回 6月 令和7年度決算報告及び事業実績報告
第2回 11月 令和8年度予算の補正及び事業計画の変更他
第3回 3月 令和9年度事業計画、予算に関する件

(2) 評議員会

- 第1回 6月 令和7年度決算報告及び事業実績報告に関する承認
第2回 12月 令和8年度予算の補正及び事業計画の変更に関する承認
第3回 3月 令和9年度事業計画、予算に関する承認

6. 事業運営組織

- ・別紙、「R8年度組織機構図」を参照

7. 研修計画

- ・法人内研修 月1回 内かまど多機能作業所、竹の内放課後等デイ、ホーム毎に職員全員を対象として実施
共通テーマ…人権・虐待防止、支援・介護・介助スキル等
・きょうされん九州ブロック…開催形態にもよるが、利用の仲間も含め積極的な参加を促進
・部外研修（随時） ZOOMによる受講形態の確保（勤務時間中の参加、集団参加）
（例）相談支援初任者研修（相談支援専門員、サービス管理責任者等の任用講習）、大分県等主催の福祉専門研修、きょうされん主催の各種研修プログラム、福祉医療機構経営セミナー、新人・中堅職員の社会人研修など

8. 設備投資、大規模な改修・購入の計画

(1) 土地建物取得

- ・予定なし

- (2) 建物・設備関係
 - ・内竈拠点…なし
 - ・竹の内拠点…なし
- (3) 固定資産物品購入等
 - ・内竈拠点…就継B型（クッキー）電気式スチームコンベクションの設置予定
- (4) 車両関係
 - ・リースによる福祉車両の導入で当面充足。（現況9台のうちリース車両7台）

9. 職員採用計画

- ・現状の職員体制で運営…。(事情により減員となる場合に新規採用を考慮。)

10. 資金計画

- (1) 施設整備補助金の受入
 - ・なし
- (2) 借入金（残高）…施設整備に伴う借入金
 - ①借入先：独立行政法人福祉医療機構(WAM)
 - 借入金額：30,000千円 期首残高：17,544千円
 - 償還等条件：期間20年、利率0.55%、据え置き10カ月(H30.5より元本返済)
 - 年度返済額(元利)1,658千円（元本1,548千円）
 - 償還原資：全事業の運営差益
- (3) その他助成金等
 - ・大分県労働局助成金センターへ「業務改善助成金」メニューの申請を計画

11. その他特記事項

なし